

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	あさなえ学園家庭教育支援チーム (呼称:あさらぶりん) URL: http://asae-j.hikari-net.ed.jp/katei.html
②活動拠点	光市立浅江小学校、光市立浅江中学校
③活動範囲	浅江中学校区
④組織体制	<u>8 人</u> 学校運営協議会委員 2 名、主任児童委員兼地域学校協働推進員 1 名 校外コーディネーター 2 名、小中教頭、小中養護教諭
⑤活動開始年度	令和2年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 浅江小学校、浅江中学校 (TEL)(小)0833-72-0039 (E-mail)asae-e@hikari-net.ed.jp (中)0833-72-0027 asae-j@hikari-net.ed.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☐ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☐ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ○あさなえしゃべり場(小学校を中心に) ・保護者同士がつながり、気軽に話ができる場を設定 ・就学時検診と同時に行われる拡大版では、先輩保護者が新入生の保護者と小グループで話ができる場を設定 ○あさなえカフェ(中学校を中心に) ・保護者会や持久走大会などにあわせて、保護者を対象とした「保護者サロン」を開催し、保護者が気軽に相談したり、交流したりできる場を設定 ○あさなえほっぷ ・「保護者が学びつながる場」として、講師を呼んで講演を聴いた後、保護者同士の語り合いの場を設定 ○あそびばあさなえ(不登校支援) ・子どもの居場所作りや保護者同士のつながりができる場を設定 ○子ども食堂(おにぎり食堂として小中学校で実施) ・年に数回おにぎりを提供し、食育や地域のつながりを育む場を設定
④活動の成果 (活動実績がある場合)	・幼保小中の保護者同士のつながりを深めることができ、初めて小学校生活を迎える就学前の保護者や、他地域から来られた保護者の不安の軽減につながった。 ・思春期の子どもをもつ保護者同士が顔を合わせる良い機会となり、子育ての悩みを共有・共感できる場所となった。「気持ちが楽になった」と話す保護者も多く、継続して関りをもつことができています ・地域の方も活動に参加するなど、保護者と地域とのつながりを深めることができています。 ・中学生の子どもたちの居場所作りができています。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☐ 文部科学省補助事業(事業名:) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☒ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☒ その他の支援により活動を実施 (浅江小学校や浅江中学校、それぞれの学校運営協議会、あさなえ学園運営協議会のサポートを受けて活動を展開している。また、光市子ども食堂支援事業補助金を活用)